

Tsuda Today

発行 津田塾大学
編集 企画広報課
〒187-8577
東京都小平市津田町2-1-1
電話 042-342-5113
FAX 042-342-5121
URL <http://www.tsuda.ac.jp>

梅子スカラシップ受給者決定

・梅子スカラシップ(学業・英文学科八人、国際関係学科九人、情報数理科学科三人へ給付)
・梅子スカラシップ(サークル活動等)六団体に給付

梅子スカラシップは、二年生以上を対象とした給付奨学金です。

学業・人物優秀者を対象に選考

する梅子スカラシップ(学業)と文化・体育活動、国際交流やボランティア、社会活動等で顕著な実績をあげた個人およびサークル等団体を対象に選考する梅子スカラシップ(サークル活動等)の二種

からなります。受給決定者にはそれぞれ二十万円を上限とした奨学金が給付されます。

二〇〇三年度の受給者が決定し、授与式は十月五日(日)に新館特別教室で行われます(参照四ページ)。

梅子スカラシップ(学業)

英文学科・二年 檜葉子、鹿島朋子 三年 曾雌未希、武熊綾子、今井瑞紀 四年 三澤明子、山田七恵、相澤美希

国際関係学科・二年 岩谷絵里、須永陽子、三原久美子 三年 西田翔子、平井玲子、佐藤優子、四年 直井佳子、太田晴美、山崎遥

情報数理科学科・二年 福本紗千、山野愛、三年 松宮久美子

梅子スカラシップ(サークル活動等)

・神谷美恵子展実行委員会
原爆詩朗読会や「PEACE

ART」ポスター展でのボランティアなど社会に通ずる活動をしている。本年度塾祭で「神谷美恵子展」を開催する。

・競技ダンス部

全日本学生競技ダンス連盟が主催する競技会において、今年度も昨年度と同様に好成績を残した。

・ソフトテニス部

関東学生ソフトテニス連盟女子全六九校のうち、上位十九から二十四位にあたる四部に位置し、今春のリーグ戦で二位という実績を残した。

・TESS (Tsuda English Speaking Society)

Debate, Discussion, Drama, Speechの四つのセクションに分かれて活動し、セクションごとに大会に出場し多くの賞を受賞した。

・グラシエールスキーチーム

全国学生岩岳スキー大会において団体戦、個人戦、新人戦における好成績を残しており、総合で全八二チーム中二九位となった。

・フィールドホッケー部

関東学生ホッケーリーグ二部で、昨年の春季大会二部六位、秋季大会二部四位の成績を修めた。

高橋裕子助教授(英文学科) 二〇〇二年度アメリカ学会 清水博賞受賞

高橋裕子助教授(英文学科)がまとめた『津田梅子の社会史』(玉川大学出版部)が二〇〇二年度アメリカ学会清水博賞を受賞しました。(参照TsudaToday 47号)

同賞はアメリカ学会による、若手研究者の第一番目のすぐれた研究業績に与えられる賞です。

折しも四月より一年間の海外研修でこの朗報をカナダ・ウィクトリアで聞いた高橋助教授は「本学の創立者・近代日本女子高等教育界のパイオニア津田梅子を相対的に評価しようと心がけました。大

学院生だった一九八〇年代半ばに

本学本館の屋根裏で発見された書

簡等の膨大な資料に出会って以

来、それらを読み解きながら楽し

く研究できたのは幸せでした。と

りわけ高等教育における日米女性

の交流に関心が深いので、これか

らは津田塾大学の前身である女子

英学塾という〈窓〉からみえてく

る二〇世紀に入ってからの日米交

流についてさらに資料収集を重ね

てまとめられたらと思っていま

す。」と、これからの抱負を語っ

ていました。

十月五日(日) オープンキャンパスを開催します

(五号館)

在学生のご父母の皆様へ大学の様子をお知らせする「父母のためのオープンキャンパス」を開催します。

開催要領は、次のとおりです。

事前予約は必要ございません。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 十月五日(日)

十時四十分～十二時三十分

会場 本学視聴覚センター

《プログラム》

十時四十分～十一時四十分

学長挨拶、学長補佐による大学

近況報告、学生委員長による学

生生活等紹介

十一時五十分～教員との個別相談

十二時三十分 終了

問い合わせ先 企画広報課

電話 〇四二三四一五一一三

E-Mail kouhou@tsuda.ac.jp

二〇〇二年度決算の概要

財務担当学長補佐 国際関係学科教授 加納弘勝

二〇〇二年度決算が五月二六日に開催された本学理事会・評議員会で承認されました。

二〇〇二年度決算の概要について説明いたします。表Ⅰに示した消費収支計算書により、二〇〇二年度決算は次のようになります。

表Ⅰ：消費収支計算書

消費収入の部				(単位：百万円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	2,693	2,693	0	人件費	1,880	1,876	4
手数料	172	186	△15	教育研究経費	876	820	57
寄付金	32	48	△16	管理経費	207	193	14
補助金	361	364	△3	借入金等利息	10	10	0
資産運用収入	14	16	△2	資産処分差額	16	25	△9
事業収入	63	67	△3	C 消費支出の部合計	2,990	2,923	67
雑収入	7	43	△37	当年度消費収入超過額	0	248	
A 帰属収入合計	3,341	3,417	△76	当年度消費支出超過額	24	0	
B 基本金組入額合計	△375	△245	△130	前年度繰越消費収入超	505	505	
A-B 消費収入の部合計	2,966	3,171	△205	翌年度繰越消費収入超	480	752	
消費支出の部				(単位：百万円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
内				内			
人件費	1,880	1,876	4	教育研究経費	876	820	57
教育研究経費	876	820	57	管理経費	207	193	14
管理経費	207	193	14	借入金等利息	10	10	0
借入金等利息	10	10	0	資産処分差額	16	25	△9
資産処分差額	16	25	△9	C 消費支出の部合計	2,990	2,923	67
C 消費支出の部合計	2,990	2,923	67	当年度消費収入超過額	0	248	
当年度消費収入超過額	0	248		当年度消費支出超過額	24	0	
当年度消費支出超過額	24	0		前年度繰越消費収入超	505	505	
前年度繰越消費収入超	505	505		翌年度繰越消費収入超	480	752	
翌年度繰越消費収入超	480	752					

〇二年度予算に対して七千六百万円の増収となりました。主な増収要素としては、特別寄付金の四千万円と私立大学退職金財団交付金三千四百万円とがあげられます。

特別寄付金には、例年、施設設備整備のための寄付をお願いしている入学時寄付一千七百万円、卒業時に学債償還の一部からご寄付いただいた額五百万円があります。特に二〇〇二年度は、教育研究設備充実のためグラウンド周囲桜並木保全の寄付一千万円などがあり、合計すると

の購入は、今年から募集が入学後に変更となったため収入が大幅に減少しております。今後ともより一層のご配慮をお願い致します。

表ⅠのB欄の基本金組入額は、購入した図書や取得した建物・備品などの資産のうち当年度に支払いを済ませた額をいいます。二〇〇二年度の組入額は、二億四千五百万円となりました。これは、五号館教室空調設備更新や体育館更衣室・シャワー室更新などの実施や、図書を九千一百万円購入したことによります。

【消費支出の状況】

表ⅠのC欄の消費支出は、二十九億二千三百万円で、このうち教員や職員の人件費は、十八億七千六百万円（帰属収入の五四・九％）、教育研究に関わる経費（例えば、教室や校舎の修繕費、授業の教材印刷費など）は八億二千万円（同二四・〇％）となりました。その他、大学を運営していくために必要な管理経費は一億九千三百万円（同五・六％）となりました。この中には、一〇〇年史出版費用も含まれています。光熱水費や印刷費などの節減に努めましたので、消費支出合計では、予算に対して六千七百万円の減となりました。今後とも節電・節水に努めて行きたいと思えます。

以上により、二〇〇二年度の消費収支は、二億四千八百万円の収入超過の決算となりました。この結果、収入超過額の累積は前年度

の五億五百万円から七億五千二百万円となりました。

【資金収支の状況】

表Ⅱは資金収支決算の概要を示したものです。二〇〇三年度入学

表Ⅱ：資金収支計算書

収入の部				(単位：百万円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,693	2,693	0	人件費支出	1,880	1,882	△2
手数料収入	172	186	△15	教育研究経費支出	586	536	50
寄付金収入	28	43	△15	管理経費支出	163	153	10
補助金収入	361	364	△3	借入金等利息支出	10	10	0
資産運用収入	14	16	△2	借入金等返済支出	89	90	△1
資産売却収入	300	300	0	施設関係支出	190	177	13
事業収入	63	67	△3	設備関係支出	126	126	△0
雑収入	7	43	△37	資産運用支出	549	451	98
借入金等収入	62	17	45	その他の支出	348	341	7
前受金収入	587	678	△92	資金支出調整勘定	△269	△185	△84
その他の収入	182	254	△72	(次年繰越支払資金)	1,485	1,721	△236
資金収入調整勘定	△650	△699	49	支出の部合計	5,160	5,304	△144
(前年度繰越支払資金)	1,343	1,343					
収入の部合計	5,160	5,304	△144				

支出の部				(単位：百万円)			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,880	1,882	△2	人件費支出	1,880	1,882	△2
教育研究経費支出	586	536	50	教育研究経費支出	586	536	50
管理経費支出	163	153	10	管理経費支出	163	153	10
借入金等利息支出	10	10	0	借入金等利息支出	10	10	0
借入金等返済支出	89	90	△1	借入金等返済支出	89	90	△1
施設関係支出	190	177	13	施設関係支出	190	177	13
設備関係支出	126	126	△0	設備関係支出	126	126	△0
資産運用支出	549	451	98	資産運用支出	549	451	98
その他の支出	348	341	7	その他の支出	348	341	7
資金支出調整勘定	△269	△185	△84	資金支出調整勘定	△269	△185	△84
(次年繰越支払資金)	1,485	1,721	△236	(次年繰越支払資金)	1,485	1,721	△236
支出の部合計	5,160	5,304	△144	支出の部合計	5,160	5,304	△144

より、流動資産が六千五百万円増加しました。一方、負債・基本金・消費収支差額の部では、五号館教室空調設備更新による第一号基本金の増と南・北校舎改修のた

者増により、学費の前受金収入が大幅に増えました。また、経費節減と工事見積りの複数業者による競争を徹底導入し、支出を大幅に抑えることができました。これに伴い、次年度繰越支払資金は前年度末に比べて二億三千六百万円の増加となっています。

基本金が増加しました。（金額はすべて百万円未満四捨五入しています。）

【貸借対照表】

表Ⅲは貸借対照表の概要を示したものです。資産の部では、五号館教室空調設備更新や体育館更衣室・シャワー室更新、図書の購入により教育環境を整備し、固定資産が二億七千五百万円増加しました。また、支払資金の増加に

表Ⅲ：貸借対照表

収入の部				(単位：百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,988	10,713	275	固定負債	1,003	1,079	△76
流動資産	1,793	1,728	65	負債の部合計	2,056	2,210	△154
資産の部合計	12,781	12,441	340	第1号基本金	9,440	9,245	195
固定負債	1,053	1,131	△78	第2号基本金	150	100	50
流動負債	1,003	1,079	△76	第3号基本金	149	149	0
負債の部合計	2,056	2,210	△154	第4号基本金	234	234	0
第1号基本金	9,440	9,245	195	基本金の部合計	9,973	9,727	245
第2号基本金	150	100	50	翌年度繰越消費収入超過額	752	505	248
第3号基本金	149	149	0	消費収支差額の部合計	752	505	248
第4号基本金	234	234	0	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,781	12,441	340
基本金の部合計	9,973	9,727	245				
翌年度繰越消費収入超過額	752	505	248				
消費収支差額の部合計	752	505	248				
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,781	12,441	340				

新留学協定校

カンザス大学 ミネソタ州立大学モアヘッド校と協定締結

この度、アメリカのカンザス大学ならびにミネソタ州立大学モアヘッド校と留学協定を締結しました。

カンザス大学は、一八六四年に創立され、一〇〇以上の専攻分野のほとんどで大学院を持ち、約二万六千人の学生が学んでいるアメリカ中西部でも有数の総合大学です。一〇〇カ国以上の国から一九〇〇人の学生が留学生として勉強に励んでいます。図書館は公立のものとしては全米でもトップクラスの量と質の高さを誇り、設備が充実しています。今年八月には本学学生の派遣が決定しています。



カンザス大学

ミネソタ州立大学モアヘッド校は、一八八七年に州立の教育機関として設立され、現在、教員養成プログラムの規模が全米No.1を誇っています。専門分野は一〇〇以上あり、国内外から約七六〇〇人の学生が学んでいます。キャンパスの周りは自然が豊かで、治安も



ミネソタ州立大学 モアヘッド校

募集要項等については国際センタールにお問い合わせてください。

津田梅子記念交流館企画・夏休み特別集中講座

夏休みに3つの集中講座が開講されます。暑い夏、普段できないことに挑戦して、「実りの秋」の準備をしてみませんか。

I. 「英語教員のためのワークショップ」

日時 八月四日(月)～六日(水)
九時～十七時

講師 日野 信行氏(大阪大学大学院助教授) 他

定員 四〇人 参加費一万八千円

II. 「数学教員のためのワークショップ」

日時 八月四日(月)～五日(火)

九時～十七時

講師 何森 仁氏(本学非常勤講師) 他

定員 三〇人

参加費 一万四千円

参加費 一万四千円

III. 「インテンシヴ・イングリッシュ」

ユ・コース Shakespeare's King Lear A Study of Turning Points for Transformation in our Individual and Social lives

日時 八月十一日(月)～十五日(金)
八時三〇分～十八時三〇分

講師 Andrew Wolpert氏(人智学者) 他

定員 三〇人 参加費 五万円
右記プログラムの申し込み・お問い合わせは、

交流館事務室(☎042-342-5146)までお願いいたします。

「ご支援・ご協力感謝申し上げます」

★二〇〇三年度新入生からの寄付・学債

寄付 八百九十万円
学債 五千三百十万円
寄付者ご芳名(六月十七日現在)
経理課受付分、順不同、敬称略)
江刺家奎介 後藤昭信 細野勝
石橋義正 金森徹也 小林伸子
久保島昌一 奥富和夫 大西武吉
斎南 齊藤潔 青木稔 伊藤顯
田代一郎 和田光弘 安藤五郎
新井悟 江口有三 藤井昌之 小
林茂 竹内利之 山西孝雄 阿部
修 伊賀進 石川美保子 永芳太
郎 野間卓 島和義 八重尾雅士
稲田新紀 木村善徳 田村勝彦
水島晴美 森政一 尼寺義弘 高
瀬敏久 加藤操 田辺俊介 丹黒
章 荒川裕明 三野真一郎 村野
芳男 佐藤正和 長谷川さやか
笠井環 水田みゆき 齋藤守信

★二〇〇二年度卒業生・在学生からの寄付

寄付 三百七十七万円
寄付者ご芳名(六月十七日現在)
経理課受付分、順不同、敬称略)
二夕見清治 平野謙治 平田雅
宣 木村昌宏 中澤二三 那須野
勝久 佐久間恒雄 佐藤正昇 和
田今日子 橋詰美代 伊藤昭 宮
城裕之 大塚宏 上野貞男 阿藤
壽孝 久保豊明 佐藤行弘 田辺
美和子 柳沢明 安藤國夫 島中
幸治 尾崎正博 篠崎克己 山中
邦昭 依田あゆみ 藤本敏 林直
樹 平林真理子 石川圭子 鎌田
英治 金子尊道 町田通二 松本
賢治 水野富夫 中村浩二 中村
清昭 野口果代 植松棟器 上野
卓治 吉田武夫 粕谷正博 竹内
信仁 都甲瑞江 富山利夫 山田
順治 阿部順一 井原芳治 川手

★二〇〇一年度卒業生からの寄付

寄付 二十三万円
寄付者ご芳名(六月十七日現在)
経理課受付分、順不同、敬称略)
北川正明 門脇弘
★その他の寄付ご芳名
○教育研究施設設備充実のため
十万円 匿名
○土居光知先生記念基金として
十万円 近藤いね子
理事会・評議員会開催報告
五月二六日(月)、第一五四回
理事会・第一二九回評議員会が、
経団連会館で開催されました。
理事・監事・評議員の選任に関
する件、二〇〇二年度(平成十四
年度)決算(案)に関する件、第
二号基本金の組入れ及びそれに係
る計画名称変更(案)に関する件、
臨時的定員の恒常的定員化による
収容定員変更に関する件について
審議され、可決承認されました。
また、学事報告について報告さ
れました。

『すべてのいのちに
微笑みを』

―神谷美恵子展―

二〇〇三年十一月、左記の日程
で神谷美恵子展が行われます。

日時 二〇〇三年十一月十日(月)

―十六日(日)

会場 津田梅子記念交流館

本学の卒業生であり、教鞭もとられていた神谷美恵子先生の回顧展が開催されます。先生の初の回顧展は昨年軽井沢高原文庫で行われましたが、今回は、同文庫と神谷家のご協力により、本学での開催が企画されました。

神谷美恵子先生については、テレビあるいは書籍等で生前の顔を拝見したり、また本学の先生方からもその名前を耳にする機会が多いのですが、先生ゆかりの方々からのお話や生涯をたどった写真の展示、直筆原稿、遺愛の品などに触れることは、先生の実像を知る貴重な機会になることと思います。

あわせて、先生が献身的に関わりをもたれた「ハンセン病」患者の詩人、塔和子さんを追ったドキュメンタリー映画が上映されます。これらを通して先生が問いつづけられた「生きがい」を考え、また私たち自身の生き方を考えるきっかけになればと思います。

同時企画

○加賀乙彦氏による講演

日時 十一月十四日(金)

十四時三〇分―十六時
津田梅子記念交流館
岡島ホール

題目 「神谷美恵子さんの思い出」

○ドキュメンタリー映画『風の舞』

―闇を拓く光の詩― 上映

日時 十一月十二日(水)

―十四日(金)

十六時三〇分―

―十七時三〇分

十一月十五日(土)

―十六日(日)

十一時―十二時

十四時―十五時

会場 五号館五〇二教室

備考 十二日(水)、十四日

(金)は、映画監督の宮

崎信恵氏が来校します。

関連企画

○柳田邦男氏講演会

日時 十一月十二日(水)

―十六時四〇分―

―十七時一〇分

会場 新館特別教室

秋の一日をキャンパスで過ごしませんか？

津田梅子記念会&ホームカミングデー

日時：2003年10月5日(日) 11:00～15:00

プログラム

- 11:00～11:10 学長・同窓会長挨拶
11:10～12:00 津田梅子記念礼拝 説教 植田仁太郎氏 (日本聖公会東京教区主教)
13:00～13:10 第4回高校生エッセイ・コンテスト最優秀賞受賞者表彰式
(レイチェル・カーソンのSilent Spring『沈黙の春』の第1章をテーマに
高校生からのエッセイを募集)
13:10～13:20 梅子スカラシップ授与式
13:30～15:00 新コース「多文化・国際協力コース」誕生を記念して
パネル・ディスカッション「いま、地球を舞台に働くという
こと―その希望と課題―」 パネリスト 本学卒業生を予定

☆津田梅子資料室：「日本の女性に留学の機会を一津田梅子の創設した日本婦人米国奨学金」

☆津田梅子記念交流館：同窓生作品の展示(絵本原画)と同窓会によるバザー開催
南塚直子さん(英大20回)作の絵本原画を展示。

※どなたでもご参加できます。予約は不要です。

問合せ先：交流館事務局 Tel.042-342-5146

エッセイコンテスト

第4回 高校生
エッセイ・コンテスト

環境保護のバイオニア、レイチェル・カーソンの『沈黙の春』第一章を読んで、あなたが考えたこと、思ったこと、感じたことを、レイチェル・カーソンへのあなたからの手紙という形式で、自由に書いてみてください。

応募資格 高校生(学年・性別不問)

応募要領 日本語の場合、四〇〇

字詰原稿用紙三枚(縦書き一二〇

〇字)程度。英語の場合、四〇〇

words程度(A四判用紙)。別紙に、

氏名(フリガナ)・性別・高校名

(所在県名)・学年・自宅住所

(郵便番号も記入)・電話番号を

記入し、原稿に添付して郵送。

募集期間 二〇〇三年七月一日

(火)―九月五日(金)(当日消印

有効)

賞金等 最優秀賞一名(賞金五万

円を贈呈、十月五日(日)本学に

おいて表彰します。

優秀賞若干名(賞金一万円を贈

呈)。最優秀作品は本学広報紙

『Tsuda Today』と本学ウェブサイ

トに、優秀作品は本学ウェブサイ

トに掲載・公表します。

提出・問い合わせ先

津田塾大学「高校生エッセイ・

コンテスト係」

〒一八七―八五七七
東京都小平市津田町二―一

☎〇四二―三四二―五一一三

本学ウェブサイト

<http://www.tsuda.ac.jp>でも紹介

しています。

【新刊紹介】

『マーガレット・サンガー』

―嵐を駆けぬけた女性―

日本評論社

エレン・チェスラー／著

早川敦子(本学英文学科助教授)

性と健康を考える女性専門家の会

／監訳

アメリカでいち早く産児制限の

提唱者となり、精力的な女性運動

とともに社会活動を展開したマー

ガレット・サンガー(一八七九―

一九六六)。近年の男女共同参画

型社会への関心に、大きなヒント

を与えるものとして、サンガーの

社会運動が再評価されています。

サンガーの歩みは、社会の様々

な領域で、女性がどのように「自

己決定権」を構築していったかを

たどる道程にもなっています。

半世紀を経た現在、サンガーの

考えていたことはいまだ色あせる

ことなく、若い女性たちが自分の

自由について考え、自己をとらえ

なおす契機となることでしょう。

訂正

本紙第四七号に左記の誤りがあり

ました。お詫びして訂正いたします。

二ページ「在学生に好評『西国分

寺セミナーハウス』

【正】中島文雄・知津こ夫妻

【誤】中島文雄・千津こ夫妻